

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	なかよしの日事業		所管課【2】	コミュニティ推進課
			評価者(担当者)	西川 慶一郎
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分	(1)生涯学習の推進		
(市民意識調査結果)		<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域	<input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域	<input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】			
		<input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし		
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】			款 10 項 5 目 2 細目 16

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	今日の社会においては、育児や教育に不安や悩みを持つ親が多く、育児放棄などの児童虐待は深刻化しており、子どもを取り巻く環境は厳しいものがある。大切な思いやりや、ささえ合う心を無くしていく傾向にあり、変貌する社会の中で、人と人のつながりが希薄化している。
対象(誰、何に対して) 【9】	親子、ともだち、学校、地域住民、家族
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	子どもたちが安心して、安全に健やかに成長できるように、親が子を育てる喜び、子が成長する喜びを感じる社会をつくる。

《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度											
	【 年度】 【 H22 年度から】 【 年度～ 年度まで】											
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】											
実施方法【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】											
事務事業の具体的内容 【14】	「家族・ともだち・学校・となり近所・地域全体」の五つのなかよしの基本理念から制定した「なかよしの日」を、広く市民に浸透させ、それぞれの関係で喜びを感じられる社会の実現のために、普及啓発イベントの開催、啓発グッズ製作や配布等を行う。											
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事務事業を構成する細事業【15】</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>なかよしの日事業</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> </tr> </table>	事務事業を構成する細事業【15】		①	なかよしの日事業	②		③		④		⑤
事務事業を構成する細事業【15】												
①	なかよしの日事業											
②												
③												
④												
⑤												

《事務事業実施に係るコスト》

		H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		受益者負担				
		その他				
		一般財源	716	999	700	1,400
	【16】 小計	716	999	700	1,400	0
[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
職人 員 の 費	職員人工数	0.70	0.34	0.36	0.36	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,424	5,761	5,761	5,761	
	【17】 小計	3,797	1,959	2,074	2,074	
合計		4,513	2,958	2,774	3,474	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① なかよしの日事業	イベントの開催や関連グッズの配布により、なかよしの日の普及と啓発を図る。	イベント開催回数	回	1	1	1	1
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
1 「なかよしの日」イベント参加者数	参加者数	人	200	300	500	500
			200	480	800	
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) C	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	子どもたちの心豊かな人間形成や家族を大切にすることを養うこと、地域で子どもたちの成長を見守っていきける環境の形成においては有意義なものであると思われる。しかしながら、6回の事業実施を経て、市が主催し公費負担をしての開催がふさわしいものかどうかは、今後検討の余地があると思われる。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	なかよしの日の提唱から昨年度で6回の啓発イベントを実施してきたところである。予算としても累計では、500万円を超える投資を行ってきたところである。今後の継続実施の必要性や事業の在り方について検討をしていく。
昨年からの見直し・改善状況【32】	イベントの形態を音楽と学生とのなかよしをテーマに実施したことにより、幅広い年代の参加者になかよしの日に参加してもらうことができた。また、アンケート調査を実施した結果によると回答者のうち51%が「今回はじめて”なかよしの日”を知った」とのことであった。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	なかよしの日制定から今年で6年目を迎えたところである。平成28年度はイベント型事業を計画しているが、今後は事業目標の見直しを行ない、事業の必要性の再確認と規模の見直し、将来的な事業展開について協議をしていきたい。	評価責任者 松下 匡
------------------	--	---------------